

科学技術基本政策 答申(案)について

平成17年12月27日
総合科学技術会議
基本政策専門調査会長

科学技術創造立国に向けて

科学技術基本法
(平成7年制定)

第1期 基本計画
(平成8～12年度)

第2期 基本計画
(平成13～17年度)

第3期 基本計画
(平成18～22年度)

政府研究開発投資の拡充

期間内の科学技術関係経費
総額の規模は17兆円

新たな研究開発システムの構築

- ・競争的研究資金の拡充
- ・ポストドクター1万人計画
- ・産学官の人的交流の促進
- ・評価の実施
(大綱的指針の策定) 等

3つの基本理念

- ・新しい知の創造
- ・知による活力の創出
- ・知による豊かな社会の創生

政策の柱

- ・戦略的重点化
 - 基礎研究の推進
 - 重点分野の設定
- ・科学技術システム改革
 - 競争的研究資金倍増
 - 産学官連携の強化 等
- ・総額規模は24兆円
- ・50年間でノーベル賞受賞者
30人程度

第3期は？

第1、2期基本計画により、基礎固めは
進んだが、世界の頭脳競争は激化

資源のない日本は
“知恵”

で生きていくしかない

- 創造性豊かな人材
有限な資源を活用し、最大限
の成果を生み出す仕組み
- これらを如何に作るか？

基本政策答申(案)・構成

第1章 基本理念

科学技術をめぐる諸情勢

第3期基本計画における**基本姿勢**

科学技術政策の**理念と政策目標**

政府研究開発**投資の総額**

第2章 科学技術の戦略的重点化

基礎研究の推進

政策課題対応型研究開発における**重点化**

分野別推進戦略の策定及び

実施に当たり考慮すべき事項

第3章 科学技術システム改革

人材の育成、確保、活躍の促進

科学の発展と絶えざる**イノベーション**の創出

科学技術振興のための**基盤**の強化

国際活動の戦略的推進

第4章 社会・国民に支持される科学技術

倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組

科学技術に関する**説明責任と情報発信**の強化

科学技術に関する**国民意識の醸成**

国民の科学技術への主体的な参加の促進

第5章 総合科学技術会議の役割

政府研究開発の**効果的・効率的促進**

制度・運用上の隘路の解消

科学技術基本計画の適切なフォローアップと進捗の促進 等

第1章 基本理念

【基本姿勢】

社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術
人材育成と競争的環境の重視
～モノから人へ、機関における個人の重視

【政策目標の明確化】

**6つの大目標、12の中目標に向けて科学技術政策を推進し、
成果実現と説明責任を強化**

<理念1> **人類の英知を生む**

<大目標1>

飛躍知の発見・発明

～未来を切り拓く多様な知識の蓄積・創造

- (1) 新しい原理・現象の発見・解明
- (2) 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造

<理念2> **国力の源泉を創る**

<大目標3>

環境と経済の両立

～環境と経済を両立し持続可能な発展を実現

- (4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服
- (5) 環境と調和する循環型社会の実現

<理念3> **健康と安全を守る**

<大目標5>

生涯はつらつ生活

～子供から高齢者まで健康な日本を実現

- (9) 国民を悩ます病の克服
- (10) 誰もが元気に暮らせる社会の実現

<大目標2>

科学技術の限界突破

～人類の夢への挑戦と実現

- (3) 世界最高水準のプロジェクトによる科学技術の牽引

<大目標4>

イノベーター日本

～革新を続ける強靱な経済・産業を実現

- (6) 世界を魅了するコビキタスネット社会の実現
- (7) ものづくりナンバーワン国家の実現
- (8) 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化

<大目標6>

安全が誇りとなる国

～世界一安全な国・日本を実現

- (11) 国土と社会の安全確保
- (12) 暮らしの安全確保

第1章 基本理念

【投資の総額規模】

5カ年間の政府研究開発投資の総額の規模は、約25兆円とする。(注:計画期間中に対GDP比率1%、名目GDPの平均成長率が3.1%となることを前提としたもの)

毎年度の予算編成に当たっては、厳しさを増している財政事情を踏まえ、財政構造改革に十分配慮した上で必要な経費を確保する。

計画の実施に当たっては、成果目標の設定、評価の仕組みの確立、研究費配分の無駄の排除などの諸改革を徹底的に実行し、投資効果を最大限高める。

第2章 科学技術の戦略的重点化

■ 投資の選択と集中の徹底により、限られた財政資源を有効に活用

多様な知と革新をもたらす**基礎研究**

～ 一定の資源を確保して着実に推進

重点推進4分野 (ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)

～ 選択と集中の上、引き続き優先的に資源配分

推進4分野 (エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア)

～ 選択と集中を徹底

■ とりわけ、5年間に予算を重点配分する対象を絞り込み、投資を集中(= 「**戦略重点科学技術**」)

■ 特に、国主導の長期・大規模プロジェクトは、「**国家基幹技術**」として精選、厳正な評価等を実施

第3章 科学技術システム改革

科学技術人材の育成、確保、活躍の促進

■ 若手研究者の活躍の促進

- 優れた若手に自立した研究機会を与える仕組み、若手対象の競争的資金の拡充

■ 女性研究者の活躍機会の拡大

- 自然科学系全体で25%の採用目標を設定

■ 優れた外国人研究者を惹きつけ、シニア研究者も活用

■ 競争的環境の強化

- 競争的資金の拡充、研究者間の競争・組織間の競争を促進

■ 社会ニーズに対応し、多様な場で活躍する人材の育成

■ 次代の科学技術を担う子どもたち等、人材の裾野の拡大

第3章 科学技術システム改革

世界最高の科学技術水準を目指す構造改革

～ 科学の発展と絶えざるイノベーション力の強化

■ 大学の更なる改革と競争力の強化

- 重点投資の推進により **世界トップクラスの拠点・30程度** の形成を目指す

■ 大学を中心とする地域活性化

- 「**地域の知の拠点再生プログラム**」(地域再生本部と連携)

■ 公的研究機関の改革徹底による機能強化

■ **府省横断的データベースの構築**を含む改革により、研究費の不合理な重複や過度の集中を排除

■ 産学官連携の深化

- 産業界の参画による **先端的な融合領域研究拠点**の形成

■ 施設・設備の適切な整備や知的基盤・研究情報基盤の強化

第4章 社会・国民に支持される科学技術 / 第5章 総合科学技術会議の役割

- 科学技術に対する**国民の関心**を高めるための取組
- 的確・着実に基本計画を具現化するため、
 - **府省を超えた主導性の発揮**
 - 独立行政法人、国立大学法人等の**科学技術関係活動の把握・所見とりまとめ**を強化し、関係府省に対し**改善措置**を求める
- 最新の科学技術動向を反映するため、府省や研究機関を連携させ、総合力を活かす「**活きた戦略**」の推進
- 国際共通的課題を解決し、他国からの期待に応えるため、アジア諸国との閣僚レベルの政策対話など、**国際活動**の戦略的推進
- 円滑な科学技術活動と成果還元のため、各種**制度改革**等の構造改革の推進

まとめ

～ 第3期計画のポイント ～

1. 社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術
2. 投資の選択と集中の徹底
3. モノから人へ、機関における個人の重視
- 科学技術人材の育成・強化 -
4. 世界最高の科学技術水準を目指す構造改革
- 絶えざるイノベーションの創出 -
5. 総合科学技術会議の司令塔機能の強化
- 各種制度改革等の構造改革の推進 -

今後の予定

- ◆ **総合科学技術会議の答申を受けて、政府において第3期科学技術基本計画の年度内の閣議決定に向けて作業。**
- ◆ **成果目標、選択と集中の投資対象については、総合科学技術会議が18年3月末までに決定。**